



読書の秋！本に親しもう



秋は読書の季節、10月27日～11月9日は「読書週間」です。

今回は、親子で本に親しむために行われた「在宅取組型」と「講演会型」の取組を紹介します。

工夫が満載！ 読書ビンゴ



関市立武儀小学校

【在宅取組型】

武儀小学校では、夏休みを利用して「親子読書ビンゴ!」が行われました。“学校の図書館開放”や“タブレットを使った親子読書の動画撮影”、“読み聞かせについての家庭教育動画視聴”等をビンゴに取り入れるなど、工夫が満載の取組です。ぜひ参考にさせていただきます。

【活動の願い】



武儀小学校では、ピブリオトークを行ったり外部の図書館司書によるブックトークを行ったりするなど、日頃から読書指導に力を入れており、長期休業中には毎年、本に関わる在宅での取組を行っている。

今回、夏休みを利用し、様々なアイデアを生かした読書ビンゴを通じて親子で読書に親しむことで、本に対する子どもたちの興味を高めるとともに、読書の幅を広げたいと考えた。

【取組方法】



- 家族で楽しく読書に取り組めるように、様々な工夫をこらしたビンゴカードを作成。
- 作成した「BOOKでBINGO、家族でBINGO」のカードを使って夏休みに家族で読書に取り組み、カードのマスに読んだ本のタイトルを記入したり、家族で図書館に出かけたり、読み聞かせの動画を観たりして、ビンゴカードのマスを埋める。

<こんな工夫が・・・>

*家族で図書館を利用できるよう、夏休みには学校の図書館を親子に開放

*読書に関する動画(岐阜県の家庭教育動画)をおうちの人と見たり、「本の一番伝えたい場面」を家族で声を出して読みその場面について話す様子を1分程度の動画に撮って提出したりするなど、児童が学校で使っているタブレットを活用



○全部マスがうまったら、特製カードがもらえる。

◇ビンゴカード

<表>

2022 武儀小学校夏休み 家庭教育学校の取組 年

BOOKでBINGO・家族でBINGO 名前

【ルール】 (1)②③④は家族で取り組もう!
(2)同じ本で2つマスをうめてもOK!!
(3)家族で取り組むマスは、おうちの人(お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん)の誰かと取り組んでね。

☆本のタイトルを書きましょう。ビンゴでもOK。全部うめたら、特製カードがもらえます。

①ほくわだしのすきな本	②図書館におうちの人と行く! (学校・生涯学習センター・開市)	③図書館で見つけたおすすめの本 (②の3か所のどこか書いてね)
④おうちの人のおすすめの本	⑤夏休みにおうちの人と読書した本 タブレットで撮ってね。	⑥読書に関する動画をうちの人と 観る。
⑦夏休みに読んだ本	⑧動物が主人公の本	⑨誰かに読み聞かせしてほしい本

【補足説明】

- ※②→学校、生涯学習センター、開市図書館のうちどこかへ家族と出かけましょう。
- ※③→家族読書は、選んだ本の「1番伝えたい場面」を家族で声を出して読みたり、その場面について話をしたりしている様子を動画を撮ってね。(動画の長さは1分ぐらい)
- ※④→動画は、提出用「家族で読書」へ送りましょう。
- ※⑥→読書に関する動画は、裏面のQRコードからアクセスしてください。

最後に、裏に感想を書いてね。

<裏>

裏面には家庭教育動画の説明が記載されています。

⑥読書に関する You Tube について



◇「読み聞かせのよさ」◇ [対象] 小学生の保護者

下の「家庭教育について学ぶ動画」を視聴してみてください。



「読み聞かせのよさ」

<https://youtu.be/kseCYrPnu8g>



※ お子様のタブレット端末では、午前8:00~10:00は閲覧可能です。

読み聞かせをすると、どんな効果があるのかをわかりやすく解説しています。

10分程度の動画です。

具体的な補足説明がなされるなど、家庭で取り組みやすい配慮がされています。

☆夏休みに家族で読書に取り組んでみてどうしたか、感想をお願いします。

子ども

おうちの方

【参加者の感想から】

お母さんのおすすめの本をかりていっしょに読んで楽しかったよ。(2年児童)

読書で知らなかったことを知れてよかったし、母が小さい頃によく読んでいた本も知ることができました。(6年児童)

全部できてうれしかったけど、よく見ると物語や小説が多いので、図鑑など違う本も見てみようと思いました。(5年児童)

日々の小さなことの積み重ねが大切だと実感しました。子どもが読んでいる本にも興味をもって、見守りたいです。(保護者)

「これ面白かったよ」と話をしながら借りるのも楽しかったし、感想を言いながら一緒に読むこともできてとても良かったです。(保護者)

【取材を終えて…】

取組後、集まってきた家庭での動画は心温まるものばかりだったそうです。ICT をうまく活用しながら様々な工夫をこらして取り組まれた「読書ビンゴ」、願いにあふれた取組でした。

9月から家庭教育委員による読み聞かせもスタートしたそうです。これからはますます楽しみです。

◇家庭教育委員会からのお便り

「BOOKでBINGO・家族でBINGO」ご協力ありがとうございました!

たくさんの方にご協力をいただくことができました。武儀小学校家庭教育委員会
ありがとうございました。
感想の一部を紹介させていただきます。

「これ面白かったよ」と話し

全部できてうれしかったけど、よく見ると物語や小説が多いので、図鑑など違う本も見てみようと思いました。 5年児童

たまには親と読書もいいと思いました。親の好きな本などもわかってよかったです。 6年児童

たくさん読んでいただいた読書の動画の一部をみなさまに紹介します。9月23日(金)~9月25日(月)にお子様のタブレットで見たいできるようにしたので、ぜひご覧ください。

親子で読書に親しむアプローズの仕方が色々あって楽しかったです。一緒に好きな場面を撮影したことがよかったです。 保護者

たくさん読んでいただいた読書の動画の一部をみなさまに紹介します。9月23日(金)~9月25日(月)にお子様のタブレットで見たいできるようにしたので、ぜひご覧ください。

おめでとうございます!
全ビンゴ達成:特製カードプレゼント!

1年生 5名	2年生 5名	3年生 14名
4年生 5名	5年生 10名	6年生 7名

後日、担任の先生より受け取ってくださいね。

「BOOKでBINGO・家族でBINGO」にご協力いただき、ありがとうございました。
子どもたちにとっては長い夏休みではありましたが、忙しい合間に図書館に行ったり、一緒に本に読んだり時間を過ごしていただけたこと、また、たくさんの素敵な感想をいただいたことを嬉しく思います。子どもたちが大きくなるにつれ、「一緒に何かをする」ということが少なくなり、私たちが思っているよりも「離れれ、早いのかもれないか」と思うようになりました。
今回の取組と一緒に過ごせる時間を大切に1つのきっかけになればと思います。子どもたちと一緒に保護者も成長していきたいと思っています。今後もご協力いただきますよう、よろしくお願い致します。ありがとうございました。

令和4年度 武儀小学校家庭教育委員会

9月12日(火)に家庭教育委員による「読み聞かせ」を実施しました。初めての試みでも緊張しましたが、子どもたちが目を輝かせて聞いてくれる様子が「貴重な体験ができた」と感じました。学校から「読み聞かせボランティア募集」の案内が配付されていますので、ぜひ皆さんの保護者の方々に参加していただきたいです。本選もお手伝いできるので、一緒にやってみませんか。お待ちしております。

家読(うちどく)のススメ



郡上市立白鳥小学校

【体験活動参加型&講演会型】

白鳥小学校は「地域とともにある学校づくり」を目指し、郡上市図書館と連携を図りながら図書館教育に力を入れておられます。

9月22日には郡上市図書館の野々村初美さんを講師に招き、1年生の親子を対象とした家庭教育学級を実施されました。前半は親子一緒に体験するブックトークが、後半は保護者対象に「家読(うちどく)のススメ」と題したお話がありました。

その様子を紹介します。

【活動の願い】



- ・昨年度も同様の家庭教育学級を実施し、大変よかった。今年度も小学校のスタートである1年生というこの時期に、郡上市でも推奨されている読書や「家読(うちどく)」について保護者みんなで学びたいと考えた。

【当日の様子】



◇前半：親子を対象としたブックトーク

1年生が対象ということで、「がっこうだいすき」をテーマに、「らんらんランドセル」「こぎつねいちねんせい」など5冊の本を紹介されました。



「どうぶつしんちょうそくてい」では、保護者役員の方が一緒になって大型絵本をめくり、読み聞かせが行われました。子どもたちは大喜びです！

あらすじが紹介されたり所々でクイズが出されたりと、大人も子どもも思わず本の世界に引き込まれます。



◇後半：保護者を対象とした講話

保護者を対象に、家読とは何か、具体的にどう進めたらよいのかについて講話がありました。

【家読(うちどく)とは】

「家読」は「家族読書」の略語で「家族ふれあい読書」を意味し、「家族みんなで読書することで家族のコミュニケーションを深める」ことを目的にした読書運動です。家族みんなで一冊の本を読んで、読んだ後に感想を言い合い、子どもと親が話し合うきっかけをつくる、というのが家読の基本スタイルです。

(「家読推進プロジェクト」より)



- コロナ禍にあって、子ども達もストレスを抱え、我慢をしながら生活している。そんな中、家庭で本を読む時間を大切にしてほしい。
- 今の社会はメディアがあふれており、刺激的で瞬時に面白い情報が手に入る一方で、家族の会話が減り、子どもの心が不安定になるなど、新たな社会問題となっている。
- 現代はデジタルの世界だが、アナログの世界でも子どもたちは十分楽しめる。家読に親しみ、家族のコミュニケーションを深めてほしい。

【家読の進め方】



*わが家のスタイルを決めましょう。

- 家族で同じ本を読む、それぞれの本を読む、大人が子どもに読んであげる、子どもが大人に読んであげる、など。

*何を読んだらいいの？

- 絵本は家読にはとてもよい。(小さな子どもからおじいちゃん、おばあちゃんまで読める。)
- 「昔からある本」と「はやりの本」をバランスよく取り入れよう。
- 物語や絵本だけでなく、ハウツー本も読んでみよう。(料理の本、折り紙の本、昔遊びの本など)

*どうやって読むの？

- お風呂から上がって寝るまでの時間、など、時間を決めて行うとよい。
- 無理なくやるのが長続きのコツ。毎日できなくてもOK。週1回から、10分、15分からスタート。
- 家族が協力し合い、テレビを消して行うとよい。

*その他

- 家族で図書館や本屋さんに行くようにすると、本が生活の中に自然に入り込む。
- 本を読むことでコミュニケーションを取ることが大事。文字を覚えるなどの見返りを求めないこと。

【参加者の感想から】



- 家庭での読書が最近いかに出来ていなかったかと反省でした。つい楽な方をとってしまい、TVやスマホの力を借りてしまっていたので、我が家も週1回でもNOテレビ、NOゲームデーをやってみたいと思います。面白い本をたくさん紹介していただき、とても為になりました。ありがとうございました。
- 野々村さんの読み聞かせをしている時の子どもたちの反応が良いなと思いました。家でも子どもたちに読んであげたいと思います。家庭教育学級が終わって下校し、すぐ「図書館に行きたい」と子どもに言われたので、早速本を借りてきました。ありがとうございました。
- 読み聞かせをして頂いて、子どもたちがすごく楽しそうで、本当に絵本一冊でもこんなに楽しめるんだと感じました。いつもは家でゲームをする事も多いので、もう少し本を読んであげたり子どもにも読んでもらったりしたいと思います。少し大きくなってきて、昔を比べると本に接する機会が家では減ってきているので、“家読”を積極的にやっていきたいなと思いました。

【取材を終えて・・・】



落ち着いた雰囲気の中で参加者が聞きやすいように、と、多目的室を会場として行われた家庭教育学級でした。会は終始温かい雰囲気の中で進められ、会場には小さいお子さんを連れて参加してくださった方も見られました。ブックトークを通して実際に親子で読み聞かせや本の紹介を体験することで、ますます家読の世界が広がったのではないのでしょうか。